

「空と私のあいだ」土田英生

◎登場人物

・グループ①

浅倉

坂元

観音寺

・グループ②

横田

河島

・グループ③

城之内

・グループ④

郷田

波江

東

・店員

土壁

榊原

◎時と場所

・ある年の五月

・ファーストフードの二階

第一場

五月の夕方。

明かりがつくとそこはファーストフードの二階。

舞台上にはテーブルが4つ。

便宜上、一番手前をA、そこから順番にB、C、Dとしておく。

そしてテーブルの間にはそれぞれの通路。

真ん中には電話がある。

全てのテーブルには人が座っている。

かしましく会話が交されている。

中央ので受話器を握りしめて立っているのは城之内。

Bのテーブルを拭いている店員、榊原。

そこに通路（CとDの間）から二人の高校生、河島と横田が入ってくる。

榊原 (河島達に) いらっしやいませ。ごゆっくりどうぞ。

と、榊原は通路に去る。

入れ替わるように別の店員、土壁が金属製のジヨウロを持って登場し、電話の横にある観葉植物に水をやる。

城之内がガシヤンと乱暴に電話を切る。

みんなは一斉に城之内を見る。

その瞬間、明かりはAのグループだけに絞られる。城之内は電話ボックスから出てきて、

城之内 コーヒーのおかわりもらえますか？

土壁 はい。少々お待ち下さい。

土壁は去る。Cの席に戻る城之内。他のテーブルの人たち

は顔を元に戻すと静止状態になる。

Aのテーブルに座っているのはグループ①。

観音寺緑、浅倉奈津子、坂元貴子の三人だ。

浅倉 びっくりしたなあ。

坂元 うん。

浅倉 あんな勢いで電話きらんでもええのに。

坂元 店員おったやん、水やってた、あの子もびびってたな。

浅倉 ……でもちゃんと水やってんねんな。

坂元 え。

浅倉 あれ、ああやって。

坂元 当たり前やん。植物なんやから、水やらな枯れてまうし。

浅倉 そりゃそうやけど。

坂元 なんやと思ってたん？

浅倉 いや、作りもんやと思ってる。スーパーとかにようあるやん、

プラスチックのやつ。

坂元 ああ。本物や、あれ。

浅倉 そうやな。

坂元 本物やし、水やんねん。

浅倉 うん。

坂元 水やらな、枯れてしまうし。

浅倉 うん。

坂元 植物も生きもんやし、水やらんかったら死んでまうやろ。

浅倉 坂元、分かったから。

坂元 それはあれやん。うちらかって食べるもん食べへんかったら死

んでしまうし、それと同じやん。

浅倉 観音寺、助けて。

観音寺 は？

浅倉 しつこいねん、この子。

観音寺 何が？

浅倉 今の話、聞いてた？

観音寺 聞いてへん。

浅倉 ……ごめん。あんたに助けを求めたウチがアホやったわ。

観音寺 分かってんのやったら求めんといて。

浅倉 ……なあ、あんた愛想って言葉知ってるか？

観音寺 うん。

浅倉 一応知ってんねんな。

観音寺 それが私となんの関係があんの？

浅倉 いや、もう少し柔らかく喋ってくれるとうちは嬉しい。

観音寺 ふうん。

坂元 ……ああ、こんなところで無駄な時間過ごしてんと、家帰って勉強せな。

観音寺 勉強って何の？

坂元 物理。来週テストやろ？

浅倉 小テストやで。

坂元 私あかんねん。物理は滅茶弱いから。で、小テストをちゃんとやったら考えたるって言われてんねん。

浅倉 え？ 田中に？

坂元 うん。

浅倉 考えたるって何を？

坂元 ウチひどい点やったんよ、この前のテスト。やから。

浅倉 ゲゲ、思いつきりひいきされてるわ、この子。

坂元 違う、ほんまにあかんねんて。

浅倉 せやけどそれは完全にひいきやん。

坂元 気持ち悪いこと言わんといて。

浅倉 何が？

坂元 田中のこと。

浅倉 田中のことがなんで気持ち悪いの？

坂元 ……別に。

浅倉 あやしい。これは怪しい。観音寺、坂元と田中の間には絶対なにかあるで。

観音寺 そうなん？

坂元 ないって、何にも。

観音寺 ……でも、田中ってええやんな、やっぱり。

浅倉 ま、うちの学校の先生の中では断トツやな。若いし、まあまあ

ルックスかってええし。ただ、授業中無駄話ばかりやってところが玉にキズやけど……玉にキズって使わん言葉やんなあ……うちいくつや？

観音寺 何、一人芝居してんねん。

浅倉 セやけど無駄話ばかりかしやる？

観音寺 まあ、三分の二はな。

浅倉 いや、もっとやな、二分の三や。

坂元 それ、過半数になってるやん。

浅倉 今日でもずっと自分の子供の話やる？

坂元 うん。

浅倉 でも可哀相な子供やんなあ、なんやっただけ、子供、名前。

坂元 権三。

浅倉 絶対いじめられるわ、その子。

坂元 なんで？

浅倉 決まってるやん、そんな、権三って、どう考えてもお屋敷で下働きしてる年寄の名前やろ。

坂元 お屋敷？

浅倉 サスペンスとかであるやん？ そのおっきいお屋敷では相次いで人が殺されていくねん。でな、いっつもその現場には権三がおってな、めっちゃ怪しくてまず疑われるねん。でもな、権三は何も言わへんくてな、絶対犯人やって思ってるって意外にも真犯人はその家の長女やねん。

坂元 あんた何の話してんの？

浅倉 最後まで聞きたいや。……（しみじみと）でもなあ、権三は最初から知ってるん。その長女が犯人やってことを。でも小さいときからその長女を可愛がってた権三はかばうねん。かばうから、何も言わへんねんなあ、これが。

坂元 分かったから、結論を言いや。

浅倉 ……権三って、そういう人の名前やろ？ だから田中の子供は可哀相ってことやん。そんなイメージの強い名前をつけられてしまつて。

坂元 それ、あんただけの偏見やで、多分。

浅倉 そんなことないって、権三って聞いたたら普通一般の市民は今の

話を連想するはずやで。

坂元 そうか？

浅倉 そうやって。

坂元 それはないって。

浅倉 観音寺。

観音寺 ん？

浅倉 どう思う？

観音寺 何？

浅倉 いや、権三について。

観音寺 ……どうでもええんちゃう。

一瞬、間。

浅倉 ……観音寺。今、あんたの目の前で繰り広げられてた活発な議論を踏まえてないやろ、あんた。

観音寺 うん。聞いてへんかったもん。

浅倉 ……あっさりしてるなあ。

観音寺 だっっておもんなかったし。

坂元 ……前から一回聞きたいって思ってたんだけど、観音寺って、なんでそんな年とってるの？

観音寺 は？ みんな一緒やん、年。

坂元 でもあんた、感動とか全然ないやろ？

観音寺 そうか？

坂元 そうやん。

浅倉 うちらは自分らのことやからアレやけど、ほら、ようおっさんとか言うやろ？ 「箸が転がってもおかしい年ごろ」とか。そういう年頃やねんで、今、うちらは。

観音寺 (鼻で笑って) なんで箸が転がるとオモロイの？

坂元 あかんわ、この子。

観音寺 (立って) トイレ行ってくるわ。

浅倉 話の途中やで。

観音寺 トイレくらい行かしてえや。

坂元 どうぞ、好きに行動して下さいませ。

観音寺 そうさせてもらいますわ。

と、さつさとトイレ（AとBの間）に。

浅倉 ホンマ愛想ないなあ、あの子。

坂元 だって一人っ子やしな。

浅倉 （驚いて）え？ 一人っ子って愛想なくなんの？

坂元 それは分からん……けど蟹座やし、あの子。

浅倉 え？ かに座って愛想なくなんの？

坂元 それも分からん……けど血液型O型やし。

浅倉 ……。

坂元 聞いてや。

浅倉 ん？

坂元 いや、O型は愛想がなくなるのかどうか？

浅倉 一緒やん。分からへんのやろ？

坂元 いやいや、意外にも血液型についてだけは詳しいかも知れへんで。

浅倉 ああ。

坂元 知りたいやろ？

浅倉 え、O型って愛想なくなるの？

坂元 残念ながら知らんねん。

浅倉 なんや、それ。

坂元はBのテーブルを見て、

坂元 ……何見てるんやろ？

浅倉 ん？

坂元 あの子。うちらのこと見てるやろ？

Bのテーブルの二人（河島、横田）は確かにこっちを見ているようだ。

浅倉 （そっちを見て）さあ、坂元に恨みとかあるんちゃう。

坂元 何でやねん。知らんで、あの子ら。

浅倉 いや、人間な、いづどんなことで人に 恨み買うか分からんぞ。気を付けなされよ、お若いの。

坂元 誰やねん、あんた。

浅倉 さあ……権三じいさんが乗り移ったんかも知れん。

坂元 それはもうええって。

土壁がコーヒーを城之内の所に注ぎに来る。

土壁 お待たせしました、失礼します。

城之内 ミルク四つ下さい。

土壁 あ、少々お待ち下さい。

と、土壁は去る。

浅倉 ……(Dの方を見て) 雨、ちよつと小降りになって来たなあ。

坂元 うん……。

浅倉 帰って勉強せな、坂元。

坂元 そやなあ。

浅倉 田中に気に入られる為にも。

坂元 そんなんじゃないって言ってるやろ。

浅倉 でも、背高いし、格好いいし。

坂元 うん。

浅倉 一緒にソフト部はいろか？

坂元 いやや。練習めっちゃ厳しいらしいで。

浅倉 いやいや、そんな厳しい練習の中から顧問との愛が芽生えるねんで。

坂元 芽生えさせたくないもん、私。

浅倉 そんな、素直におなりなさい、お若いの。

坂元 だから誰やねん、それ。……それに、ホンマやめてって、そういうこと言うの。それにうち彼おんねんで。

浅倉 知ってるよ。雄治君や。東高の子やろ？

坂元 うん。

浅倉 そんな、田中のこととか冗談で言ってるねんで、うち。
坂元 それは分かってるけど……あいつさ、ちよつとやらしい思えへん？

浅倉 え。

坂元 田中。時々、授業中とか、かがんだりした時にじつと胸元とか見てたりせえへん？

浅倉 気づいたことないけど。

坂元 ……あかんねん、ああいうの、私。

浅倉 うん……。

坂元 前にな、帰りに田中に声かけられたことあんねんか。歩いてたら、車から。

浅倉 え。

坂元 いや、別に何ってないけど、家まで送ったるって凄いいしつかったんよ。

浅倉 ……で、車に乗ったん？

坂元 ……乗ってない。

浅倉 ふうん。

坂元 それだけやけどさ、なんかあいつ気持ち悪いねん、私。

浅倉 ふうん。

坂元 車には乗らへんかったけど。

浅倉 うん。

坂元 でも……うん。

なんだか浅倉は元気がなくなった。

坂元 だから、あんたもやめときや。

浅倉 何が？

坂元 田中とかに興味持つの。

浅倉 もってないよ、私は。

坂元 うん。でも浅倉って話にすぐ田中のこと出てくるし、そうなんかなくてちよつと思ってるさ。

浅倉 ちよつと、待ちなされ、お若いの。

と、ふざけるが勢いはない。

坂元 違ってたらいいけど……。

浅倉 (必死で) 違うって。担任やし、話に出たりするだけやって。

坂元 うん。

浅倉 そんなん全然。

坂元 うん。

浅倉 全然やって。

坂元 うん。

浅倉 (自分に言い聞かせるように) うちはあるなおっさんに興味ないし。そんな、子供に「権三」ってつけるような、変な趣味の男……。

Cの城之内立ち上がって電話に。受話器を取って……。

坂元 変なこと言っでごめんごめん。

浅倉 うん。

坂元 もういいわ、物理も、どうでも。

間。

浅倉 それにしても……権三って、それはないよなあ？

坂元 また田中の話？

浅倉 ちやうよ、純粹に名前の話やって。だって小学生が権三って。

坂元 お屋敷の下働き？

浅倉 そうそう。

坂元 まあな。

浅倉 (嬉しそうに) あ、坂元もさつきは否定してたけど、「権三」はやっぱお屋敷の下働きって認めたやん、今。

坂元 (笑って) 浅倉に合わせて言っただけや。

浅倉 またまた。

坂元 いや、そうやって。

浅倉 負け惜しみ言っつて。

坂元 負け惜しみじゃないって。

浅倉 分かってんねん。実は「なる程ええ諭えや」って納得したけど、プライドが邪魔するねん。

坂元 違うよ。

浅倉 無理をしなさるな、お若い人よ。

坂元 さつきから、誰やねんそれ。

観音寺がトイレから帰ってくる。

浅倉 お帰りなさいませ。

観音寺 何それ？

浅倉 いや、お好きにトイレをお済ましになられましたか？

観音寺 まあなあ。

観音寺は座る。

観音寺 なんの話してたん？

坂元 観音寺様が興味を持ってくれるような話題ではありませんねえ。

観音寺 ふうん。

そこに店員の榊原と土壁が二人で入ってくる。(AとBの間から)そして榊原は店内に向かって、

榊原 (ぞんざいに) 失礼します。あの、お客さんの中で店の東側に車を停めてる人はいませんか？ いたら動かして下さい。……いますか？……いますか？

土壁 (榊原に) ちよつと。

榊原 はい？

土壁 私言うから……すみません。お客様の中に黒のクラウンでお越しの方がいらっしゃいましたら、他の車両のご迷惑となっておりますので、宜しくお願いいたします。失礼いたしました。

と、土壁は去る。取り残される榊原。電話ボックスにいた

城之内は電話を切って出てくる。そして榊原に、

城之内 ミルク四つ早く下さい。

榊原 あ、はい？

城之内 さっき言ったんですけど。

榊原 お待ち下さい。

と、城之内は席に戻る。榊原は全体に向かって、

榊原 あの、しちゆれいします。

と、頭を下げると去る。

浅倉 今、しちゆれいしますって言ったよな。

観音寺 そうか？

坂元 それにここにおるのみんな高校生やろ？ 学校の帰りやし、車で来てる子なんておらんちゆうねん。

浅倉 ちよつとこの店員はおかしいわ。

と、Dに座っていた東がいきなり立ち 上がって、

東 (立ち上がりながら) 座る。

郷田 訳分からんことやめてよ。

東 (座りながら) 立つ。

郷田・波江 おおっ。

郷田 ……気持ち悪いなあ。

観音寺 ……(それを見て) 何してんねん、あの子らも。

浅倉 みんなおかしいわ。

坂元 (城之内の方を見て) あの子もおかしいな。ずっとああやって一人で座ってるやろ。コーヒー四杯目やで。

浅倉 で、十五分置きに電話んところ行くし。

坂元 ミルク四つつってなんやねん。

浅倉 カフェオレにする気なんや。

坂元 最初から頼んだらええやん。
浅倉 ……だけど笑うなあ。

坂元 何が？

浅倉 今言ってたやん？ いや、高校生が黒のクラウン乗ってたら。
坂元 ああ。しかもあれやねん。なんて言うの？ ガラス、中見えへんねん、スモークガラスか。

浅倉 それ、めっちゃ大物やん。

観音寺 あれやんな、サスペンスとかで絵に書いたような悪い奴ってそんなに乗ってるやんな。

間。浅倉と坂元は驚いている。

浅倉 ……お、めずらしく観音寺が興味を持って喋った。

坂元 おう。

観音寺 何や、それ。

浅倉 だってめずらしいやん。

坂元 おう。

観音寺 ……私結構マニアやねんで、サスペンスとか。

浅倉 そうなん？ うちもやで。

観音寺 さっきなんか言ってたもんなあ、浅倉。

浅倉 ちよつとちよつと、好きなんやったら乗ってこいや、話に。

観音寺 いや、サスペンスって言ってもチープなんが好きなん、うちは。夏休みとか朝の十時頃からモーニングシアターとかって、昔のサスペンスドラマ流してるやん。あんなん好きやねん。

浅倉 悪いけど、握手させてくれませんか？

と、浅倉は観音寺と握手。

坂元 何してんねん、あんたら。

浅倉 いや、こんな身近に理解し合える人がいたとは……。

観音寺 (続けて) 黒のクラウンに乗ってるのはな、結構男前の青年実業家だな、そのドラマの主人公である女新聞記者は意外にも恋に落ちてしまうねん。

浅倉 チープなサスペンスにはよくあるパターンや。

観音寺 で、主人公は悩むねん。疑いたくないから。疑いたくないけど調べるうちに次々と出てくる不利な証拠。

浅倉 つらいっ。

観音寺 正義をとるか愛をとるか……で、結局捕まってしまうんや。

浅倉 でもエピソードがあんねん。

観音寺 そうそう、ウソで塗り固められた青年実業家の人生。でもな、捕まって連れられていくとき犯人の実業家は言うねん。「あなたを好きだと言っただけはウソじゃありません」

浅倉 ああ、涙腺が緩んできた。

坂元 アホちゃうか、あんたら。

観音寺 ま、そんなとこや。

浅倉 でもな、先生。

坂元 いつの間に先生になつてんねん。

観音寺 意見があるなら言ってみなさい。

坂元 ちよっと、観音寺まで。

浅倉 女新聞記者とかが主人公の場合ですねえ、必ずその人にあこがれてる年下のカメラマンとかとコンビやと思うんですけど。

観音寺 そやそや。そのエピソードは本当のラストや。もう、キヤストの名前とかがこうテロップで上がっていくそのバックでそのカメラマンは「ねえ、あいつとなんかあつたんすか？」とか焼きもちは焼くなあ。

浅倉 観音寺先生、それですわ、私が求めているシーンは。もちろん、どっかの砂浜ですよ。

観音寺 そう。でも女新聞記者は「さあね」とか言って笑って、ずんずん歩いていってしまうねん。そしたらそのカメラマンは、

観音寺・浅倉 ま、待って下さいよお。

坂元 なんでそんな呼吸びったりやねん。

浅倉 ああ、すつきりした。……なんやなんや、観音寺いけるやん。情熱あるやん。

観音寺 マニアやからな。

浅倉 これからも共に頑張っていこ。

観音寺 そやな。

坂元 何頑張んねん。……ああ、雨も上がったし、ほんま帰ろ。
浅倉 勉強？

坂元 それもあるけど……。

観音寺 何？ 田中に気に入られる為？

坂元 そんなんじゃないって。

観音寺 ……でも田中って実験の時、白衣着るやん。あれ、いいよな
あ、なんか。で、絶対に言うやん、実験の時。

浅倉 (田中先生の真似) いいか、結果に誠実に。

観音寺 そうそう。

坂元 もっと太いで声。

浅倉 いいか、結果に誠実に。

坂元 それは似てるわ。

浅倉 ……でも確かに実験の時は格好ええやん。

坂元 そうか？

浅倉 田中がええって言うのとちゃうで、格好がやで、もちろん。今、
観音寺が言ったのと同じニュアンスでやで。な、観音寺。

観音寺 は？

浅倉 田中って実験の時だけ格好ええやろ？

観音寺 (適当に) まあなあ。

浅倉 今さっきあんたが言い出したんやで。

観音寺 もう、飽きた。

浅倉 は？

観音寺 どうでもええんちゃう。

浅倉 ああ、観音寺が元に戻ってしまった。

坂元 ……なんかうちはあれや。どうしても何か影で悪いことしてる
犯人みたいに見えるわ。田中の白衣。

浅倉 え。

坂元 さっきの話じゃないけど。サスペンスの犯人。

城之内が立ち上がって、通路から出て いく。

観音寺 (再び乗り出して) 私、なんの役やろ？ 田中が犯人として。

浅倉 え。

観音寺 待つてな、田中が犯人やねん、とにかく。で、私はあれやな、ひそかに事件のかぎを握るお手伝さんやな。

浅倉 そんな可愛くないやろ。どっかの金融会社の女社長や。

観音寺 なんでそんなドンやねん？

浅倉 黒のクラウン乗ってんねん、スモークガラスの。

坂元 うちは？

浅倉 あんたはオープニングで最初に殺される女やな。

坂元 全然、出番ないやん。

浅倉 仕方ないねん。厳しい世界やねん。

観音寺 坂元が殺されるのは風呂場やな、それが物語のはじまりや。

浅倉 ええやん、おっぱい出せるやん。

坂元 出したないわ。

浅倉 あらら、そうなる私と私が主役や。

観音寺 あれやで、浅倉は田中に憧れる高校生や。で、疑いたくないけど、どんだん田中の悪事を知って行って悩むんや。

浅倉 うん……。

観音寺 なあ？ サスペンス同好会つくらへん？

浅倉 あ……いいなあ、それ。

観音寺 ええやろ？

坂元 何すんねん、その同好会は。

浅倉 ま、最初は今までのサスペンスのパターンを調べたりして勉強会や。

観音寺 うん、それやったら生きていけそうや、私も。

浅倉 で、ここからが本当の活動なんやけど、こう、うちの学校の
中で起こる様々な事件を三人で解決していくねん。貼り紙とかして、
悩みを持つ高校生を募集して。「修学旅行、湯けむり殺人事件簿」と
か。

坂元 修学旅行終わったやん。しかも北海道やったし、ゆけむりって
温泉やろ。

観音寺 あれつけようや、「美人女子高生」とか。

浅倉 そうですねえ、先生。

観音寺 私たちは新聞部の美人トリオで。

浅倉 まず、何から始めましょうか？

観音寺 そうやなあ、田中やな。田中とこの坂元の怪しい関係について調べて行こか。

浅倉 うん……。

坂元 ……。

観音寺 よっしゃ。なんか、やる気になって来たわ。私、こんなやる気になったんは初めてや。計画練んで、今から。取りあえず、コーヒーのおかわり、浅倉頼んできて。

浅倉 私が？

坂元 私帰るで。

観音寺 早く。

浅倉 分かった。

と、浅倉は出ていこうとする、と、Bに座っていた横田も同じように出ていこうとして、

横田 どうぞ。

浅倉 すいません。

と、二人は去る。

観音寺 よっしゃよっしゃ。

坂元 ……なあ、田中のこともう言わんで。

観音寺 は？

坂元 ……ホンマにいややねん、うち。

観音寺 ……？

音楽。暗転。

やがて明かりがつく。

第二場

テーブルが四つあり、それぞれに人が座っている。かしましく会話が飛び交っている。中央には電話がある。そこで受話器を握りしめて立っているのは城之内。Aのテーブル

を拭いている店員、榊原。

そこに通路（BとCの間）から二人の高校生、河島と横田が入ってくる。

つまり一場とは角度が違って見えるということになる。

榊原 （河島達に）いらっしやいませ。ごゆっくりどうぞ。

と、榊原は通路に去る。

入れ替わるように別の店員、土壁が金属製のジヨウロを持って登場し、電話の横にある観葉植物に水をやる。

城之内がガシャンと電話を切る。みんなは一斉に城之内を見る。その瞬間、明かりはAのグループだけに絞られる。

城之内は電話ボックスから出てきて、

城之内 コーヒーのおかわりもらえますか？

土壁 はい。少々お待ち下さい。

土壁は去る。Bの席に戻る城之内。他のテーブルの人たちは顔を元に戻すと静止状態になる。

Aテーブルには河島と横田の二人がいる。

横田 びっくりしたな。

河島 ……うん。

横田 気持ちわるう。

河島 え。

横田 いや、雨。

河島 あ、私も。

間。

横田 ……久しぶりやな。

河島 うん。

横田 二カ月ぶりか？

河島 こうやって喋るのは、うん、それくらいかな。

横田 うん。

河島 でも廊下とかですれ違っし。

横田 うん。

河島 (笑って) でも不思議やと思えへん？

横田 何が？

河島 去年とかクラス一緒の時は毎日喋ってたのに。

横田 うん。

河島 二カ月で全然喋らんくなんねんなあ。

横田 うん。 ……電話なんてめずらしいやん。びっくりしたわ。

河島 うん。

横田 ……どうしたん？

河島 ……。

横田 何かあったん？

河島 ……。

横田 黙ってたら分からんし、話してよ。

河島 ……絶対誰にも言わん？

横田 うん。

河島 ホンマに絶対やで。

横田 うん。

河島 いや、恵美言うもん。

横田 言わへんよ。

河島 ホンマに？

横田 うん。

河島 これは困んねん、ホンマ誰かに喋られたら。

横田 分かった。私アレやで、言わんといてって頼まれたら絶対言わへんし。

河島 嘘やん。

横田 ホンマやって。

河島 でも去年やって喋ったやんか。絶対喋らへんって約束したのに。

横田 何を？

河島 私の早足の話。

横田 え？ 早足？

河島 恵美だけしか知らんはずやのに、みんな知っててんで。

横田 ごめん、何の話？

河島 ひっどお、しかも忘れてる。

横田 ごめん、何の話？ 早足？ うち喋った？ 何か。

河島 うん。前に一緒に帰ってたとき、私がすごい大股でしかも早足やったやろ？

横田 (手を叩いて) あ、思い出した、あれか？

河島 喋ったやろ？ みんなに。クラスのみんなに言われてめっちゃ恥ずかしかってんから。

横田 ごめん。でもあれは面白かったんやもん。

河島 ……笑い事じゃなかったんで。

横田 だってなんであんな大股でしかも早足なんかなあと思っててさ、私最初はトイレでも行きたいんかなあと思ってたんよ、そしたら…

河島 仕方ないやん。

横田 でもまさかパンツのゴム切れてるなんて思わへんもん。

河島 ずってくんねん、さっさと歩かんと。

横田 うん。

河島 今のクラスの子も噂で知っててさ、今、私のあだ名知ってる？

横田 なんて呼ばれてんの？

河島 「ズリズリ仮面」

横田 えっ。

河島 恵美のせいやで。

横田 ごめん。

河島 (笑って) いいけどもう。

一瞬、間。

横田 今度は絶対誰にも話さへんからさ。

河島 ホンマにやで。

横田 うん。

河島 ……。

横田 どうしたん？

河島 うん。

横田 また面白い話？

河島 結構笑えると思う。

横田 ……うん。

河島 ……うちな、ホンマに恵美のこと友達やって思ってる。

横田 何よ、急に。

河島 クラス変わって喋ってないけどさ……うちの理科の授業の時、恵美達体育やる？

横田 知らんけど、そうなん？

河島 うん。いっつもぼうつと見てんねんで。あ、恵美おるなあって思う。

横田 ……うちも思うよ、祐子見かけた時。あ、祐子やなあって。

河島 うん。

Dテーブルで、

観音寺 (立って) トイレ行ってくるわ。

浅倉 話の途中やで。

観音寺 トイレくらい行かしてえや。

坂元 どうぞ、お好きに行動して下さいませ。

観音寺 そうさせてもらいますわ。

と観音寺はさっさとトイレ(DとAの間)に。河島はそれを目で追って、

河島 ……あの子ら、三組の子らやんなあ？

横田 そうかな、うん。

河島 田中のクラスや。

横田 田中って物理の？

河島 そう。

横田 あの先生って格好いいよなあ、

男前やし若いし。

河島 そう？

横田 うん、いいやん。だってウチそれだけでソフトボール部入ろうかって思ったくらいやもん。顧問やろ？ 田中先生。

河島 うん。

横田 あんなん担任っていいよなあ。

河島 そうかなあ。

横田 うん。

河島 恵美達は……あ、東野か？

横田 めっちゃ厳しいし、あのホクロは。

土壁がコーヒーを城之内の所（B）に 注ぎに来る。

土壁 お待たせしました、失礼します。

城之内 ミルク四つ下さい。

土壁 あ、少々お待ち下さい。

と、土壁は去る。

横田 ……で？

河島 ん？

横田 何よ、話。

河島 ああ……。

横田 約束します。誰にも言いません、絶対に。

河島 （ため息）

横田 ちよちよちよ、暗いで。

河島 （笑って） うん。

横田 （笑って） どうしたん？ またパンツずったん？ズリズリ仮面ツーや。

城之内立ち上がって電話に。受話器を取って……。

河島 どうしよう……私。

横田 ……？

河島 (うつむいてしまう)

横田 祐子？

観音寺がトイレから帰ってくる。

浅倉 お帰りなさいませ。

観音寺 何それ？

浅倉 いや、お好きにトイレをお済ましになられましたか？

観音寺 まあなあ。

観音寺は座る。

横田 ……ちよつと、祐子。

河島 (意外と明るく) 私な、妊娠してるかもしれん。

横田 ……は？

河島 うん。

横田 うんって……

そこに店員の榊原と土壁が二人で入って来る。そして

榊原は店内に向かっ

て、

榊原 失礼します。あの、お客さんの中で店の東側に車を停めてる人はいませんか？ いたら動かして下さい。いますか？ いますか？

土壁 (榊原に) ちよつと。

榊原 はい？

土壁 私言うから……すみません。お客様の中に黒のクラウンでお越しの方がいらつしゃいましたら、他の車両のご迷惑となっておりますので、宜しくお願いいたします。失礼いたしました。

と、土壁は去る。取り残される榊原。電話ボックスにいた

城之内は電話を切って出てくる。そして榊原に、

城之内 ミルク四つ早く下さい。

榊原 あ、はい？

城之内 さっき言ったんですけど。

榊原 お待ち下さい。

と、城之内は席に戻る。榊原は全体に向かって、

榊原 あの、しちゆれいします。

と、頭を下げると去る。

河島 ……今、しちゆれいしますって言ったやんな。

横田 (河島を見つめている)

河島 聞いた？

横田 ……。

河島 なあなあ。

横田 (遮って) そんなことどうでもいいよ。な、ホンマなん？ そ

れ、妊娠……？

河島 うん。

横田 (にわかには信じられず) え？ え？

河島 うん。

横田 嘘……ホント？

河島 ……病院には行ってないから、絶対かどうかは分からんけど。

横田 ……うん。

河島 でも、たぶん、そうやと思う。薬局で売ってる検査薬があつて、

それは一応やってみた。

横田 ……で？

河島 うん……そうみたい。

横田 嘘……。

河島 どうしよう……

横田 ……。

テーブルに座っていた東が喋りながら立つ。

東 (立ちながら) 座る。

郷田 わけわからんことやめてよ。

東 (座りながら) 立つ。

郷田・波江 わあ

郷田 気持ち悪いなあ

しかし二人はそれも見ず、

横田 嘘やろ？

河島 嘘やったらいいんやけど。

横田 ……誰なん？

河島 うん。

横田 相手。祐子が誰かと付き合ってるって知らなかった。

河島 だって誰にも言ってるないもん。

横田 ああ。

河島 ……恵美、絶対にだれにも言わんといてな。

横田 あたり前やん。

河島 ありがと。

横田 ……で、だれ？

河島 うん。

横田 ……

河島 ……田中やねん。

横田 田中？ どのの？

河島 物理の。(Dの方を見て) あの子らの担任の。

横田 (声が出ない)

河島 去年から。

横田 ……

河島 (少し笑って) びっくりした？

横田 ……かなり。

河島 ……(おどけて) 言っちゃった……ホンマ誰にも言わんとして

な。

横田 ……結婚してるやん、あの先生。

河島 そうや。

横田 祐子。

河島 (笑う)

横田 知ってるん？ 田中は、そのこと？

河島 妊娠したかもしれんこと？

横田 うん。

河島 昨日、言った。

横田 で、なんて？

河島 ……。

横田 なあ。

河島 ……ちゃんと病院で調べてもらえって。

横田 でも……

河島 近くの病院はあかんって。……で、もしホンマやったら、お金は出すからって……

横田 そりゃ、当たり前やけどさ。他には？

河島 ま、そんなこと話しただけやけど……すっごい素っ気無かった。

横田 うん。

Dでの会話が聞「える」。

浅倉 (田中先生の真似) いいか、結果に誠実に。

観音寺 そうそう。

坂元 もっと太いで声。

浅倉 いいか、結果に誠実に。

坂元 それは似てるわ。

河島 ま、ウチがアホやったんやなあ。

横田 そんな……

河島 カッコいいなあって思ってた。

横田 うん。

河島 物理教えてくださって言ったら、教えてくれて。

横田 うん。

河島 先生、すごい優しかった。
横田 うん。
河島 楽しかった……。
横田 うん。

河島は言葉に詰まる。

河島 どうしよう……
横田 ……
河島 (突然不安そうに) なあ、恵美。どうしたらいいんやろ、私。
横田 もっと、ちゃんと言わなあかんよ、田中に。
河島 え？
横田 そんな向こうの都合のいいようにさせとつたらあかんて。
河島 どういうこと？
横田 とりあえず、病院は行って、ウチ、付いてってあげるから。
河島 ……ありがとう。
横田 調べてもらって。
河島 うん。
横田 で、田中にちゃんと言おうや。
河島 なんて？
横田 そんなん、田中がいつしよに行くべきやろ？
河島 ……
横田 とにかく腹立つやん、そんなん。
河島 うん……。
横田 (河島の頼りない返事に苛立って念を押す) 立つやろ？
河島 わからん。
横田 どうして？
河島 ……なんでかなあ。なんか、現実感がないねん。
横田 え？
河島 つて言うか、例えばホンマに子供が出来てたとして、それが
どういうことなんかとか、何でアカンのかとか……。
横田 何いってんの？
河島 ……保健体育でテストに出るやん。中学の時も勉強したやん。

小学校の時も女子だけ体育館に集められて、映画観たやろ？ ……教科書にも書いてあるもん。だってウチの身体は子どもが出来るようになってる訳やろ？ 何で？ 何があかんの？

横田 そんな問題、ちがうやろ？

河島 え？ ちがうん？ なら、何が問題なん？ ウチ、なんか悪いことしてんの？ なあ、教えてや、恵美。

横田 ちよう、落ち着きって。

河島 ……ごめん。でも、何であかんのかなあ。

横田 祐子、まだ未練あるんじゃないん？

河島 未練って、分からんけど…でも、そりゃ嫌いじゃないし。

横田 何いってんの、遊ばれただけやで、あんた。

河島 やっぱ、そうなんかなあ…。

横田 だって、そうやん。結婚もしてるし。

河島 うん。

横田 ……やってやろうや。向こうだってバレたら困るんやし。そんな、ただ引き下がったらいかんよ。悔しいやん。

河島 うん、どうすんの？ ゆするんか？

横田 ふざけてる場合じゃないやん。

河島 ごめん。

横田 計画練ろ。

河島 計画って？

横田 そんな先生ほつといたら、あかんやろ。田中撲滅キャンペーンや。

河島 あの人、ダイオキシンと違うで。

横田 ふざけてる場合じゃないって。なんかめっちゃ、腹立ってきたわ、うち。

河島 ……ありがとう。

横田 腹立ってきたわ。

河島 うん。

横田 なんやろ？ ホンマ、腹立つわ。

河島 うん…。

横田 (ピシット) 祐子にもやで。

河島 え？

横田 ……去年からやろ？ 全然知らなかったし、うち。何してんのよ？ ホンマ、何してるんよ、祐子。

河島 ……。

横田 ああ、もう、腹立つわ。腹立つ。ムカムカすんねん。

河島 恵美……。

横田 ……田中も何やねん。むかつく男やなあ。

河島 優しいところあるんやけどな。

横田 そんな表面だけや。もう、ちゃんと考え。祐子は、ただ遊ばれたんや。ホンマにただ。

河島 ……楽しい時もあつたんやけど……。

間。

河島 ……ごめん。そやな……。

城之内、席を立て出て行く。

横田 ……雨、やんだな。

河島 (同じように見て) うん。

横田 ちよつとコーヒーもう一杯もらってくるわ。いる？

河島 いい。

横田 もうちよつと喋ろ。

河島 ……。

横田 じゃ、行ってくるわ。

河島 うん。

横田は席を立ち、去ろうとする。

するとDに座っていた浅倉も同じように去ろうとして、

横田 どうぞ。

浅倉 すいません。

そして二人は去る。

河島 ……遊ばれたんか、私は……

暗転。

第三場

明かりが中央の電話のところに入る。そこで、電話に向かってしゃべっている城之内。

城之内 ……そうですか、すみません。……え？ あ、城之内ですけど……あ、別に、伝言はいいんで……はい。

と、電話を切る。手帳を見て、次の家 にかける。やがて、

城之内 あ、もしもし、城之内と言いますけど、理江さんはいらっしやいますか？……そうですか……あ、別に……はい。城之内です。同じクラスの……はい……すみません。

と、切る。そして次へ。

城之内 あ、もしもし、城之内と言いますが、典子さんはいらっしやいますか？……いますか？ あ、はい。

と、観音寺がトイレから帰って来てCの席へ。

浅倉 お帰りなさいませ。

観音寺 何それ？

浅倉 いや、お好きにトイレをお済ましになられましたか？

観音寺 まあなあ。

城之内 あ、典ちゃん。うち、城之内。……いや、ほら、中学の時の……吹奏楽部の城之内、ホルンの担当の……え？ 覚えてるやろ？……

…高田川高校に行った…そうそう。そうやって、その城之内やって…びっくりしたわ、忘れてしまったかと思って…

城之内は少し快活になった。

城之内 いや、用事ってあれやけど、今、少ししゃべる時間ないかなあ…三〇分くらいでいいんやけど…いや別に大した話ではないんやけど…ちよつとだけな、今、高校で、うまくいってへんのよ、うち…うん。で、少しだけ典ちゃんと喋りたいねん。…うん。あ、そっか…忙しいか…え？ それは何時から？…いや、その、デートは何時から？…うん。その前に少しだけでいいねん。…（笑って）でもあれ…うち、このままやったら、死ぬかもしれないねんで…何でって…もう、いややから…だから少し話に付き合ってくれへんかなあ…え？…何で典ちゃんかって…だつてうちと典ちゃんて、一時結構仲良かったやろ？…仲良かったって…うん。…ああ、そりゃ…頑張るけど…はい、ごめん。

と、電話を切る。そこに榊原と土壁が出て来て。

榊原 失礼します。あの、お客さんの中で店の東側に車を停めてる人はいませんか？ いたら動かして下さい。いますか？ いますか？

土壁 (榊原に) ちよつと。

榊原 はい？

土壁 私言うから…すみません。お客様の中に黒のクラウンでお越しの方がいらつしやいましたら、他の車両のご迷惑となっておりますので、宜しくお願いいたします。失礼いたしました。

と、土壁は去る。取り残される榊原。電話ボックスにいた

城之内は電話を切って出てくる。そして榊原に、

城之内 ミルク四つ早く下さい。

榊原 あ、はい？

城之内 さっき言ったんですけど。

榊原 お待ち下さい。

と、城之内は席に戻る。榊原は全体に 向かって、

榊原 あの、しちゆれいします。

と、頭を下げると去る。

城之内 (独り言、つぶやき謡うように) ワタシハココニイマス……
タダ、ココガドコナノカワカリマセン……。

音楽。暗転。

第四場

閉店後の店内。

客は誰もいない。その中で榊原は面倒臭そうにモップがけ
をしている。と、ややあつて入ってくる土壁。

土壁 あ、お疲れさま。

榊原 はい。

土壁は適当な場所に座る。

土壁 ……疲れたやろ？

榊原 はい。

土壁 最初の日はみんなそうや。

榊原 はい。

土壁 で、土壁さんの感想は？

榊原 ……疲れました。

土壁 バイトすんの、初めて？

榊原 そうですねえ……初めてです。

土壁 そら、疲れるわ。

榊原 はい。
土壁 あ、もうモップがけはいいし、座つて。
榊原 どこにですか？
土壁 (Aを指して) そこでいいわ。
榊原 はい。

と、土壁は手にしていたモップを無造作に落とす。そして
スタスタと座る。

土壁 ……。
榊原 もう、帰れるんですよね？
土壁 うん。……ただ、今な、下で店長に言われてんけどな、私が
榊原さんに色々と教える係になったんよ。
榊原 はあ。帰れないんですか？
土壁 帰れるけど……少しだけ、今日のことをな、こう……何て言う
んかなあ……ま、二人で、反省会をちょっとだけしたいねん。
榊原 ……。
土壁 すぐ済ますから。
榊原 お願いします。
土壁 ……今、高一？
榊原 そうです。
土壁 じゃ、十五？
榊原 はい。
土壁 何で、バイトはじめたん？
榊原 お金が欲しいからです。
土壁 なんで？
榊原 は？
土壁 いや、お金。
榊原 欲しいですよ、お金は。
土壁 うん。
榊原 欲しいもん、いっぱいあるし、親に言ったら、自分で働けって
言われたし。
土壁 学校、オツケーなん？ バイト。

榊原 ダメです、フッフ。

土壁 大丈夫なん？

榊原 平気ですよ、多分。……土…壁さん？

土壁 うん。

榊原 土壁さんもやってはるじゃないですか？

土壁 うちは、ほら夜やねん学校、定時制やから、みんな働いてるし。

榊原 へえ。でもバイトですよ？

土壁 うん。午前中はコンビニで働いてて、ここは午後だけやし。

(笑って) あんまり学校行ってへんねん。

榊原 働きもんですねえ。

土壁 ……。ま、それくらい働かなちよときついし。うちの場合は

家にもお金入れなあかんし。

榊原 (意味が分からない) は？

土壁 リストラされてな、親。ずっと仕事ないねん。

榊原 ……。

土壁 欲しいもんあるからバイトはじめてんなあ？

榊原 はい。

土壁 ……欲しいもんって……例えば何？

榊原 いや、趣味にお金かかるし。

土壁 趣味？

榊原 はい。

土壁 何？

榊原 うちのですか？ いや、うちは趣味多いから、色々ありました

けど……最初は切手とか集めてて、結構たまったんですよ。しかもす

ごいのもってて、「月と雁」って知ってはります？ すごい値打ちあ

るんですよ。お父さんくれて、フッフ。

土壁 全然分からんけど、それでお金欲しいの？

榊原 あ、切手は中学の時の趣味です。今は切手なんか全然興味ないから、フッフ。

土壁 今の趣味は何なん？

榊原 ……今ははお金集めてるんですよ。

土壁 は？

榊原 昔の。寛永通宝とか永楽銭とか。

土壁 何言ってるの？

榊原 知りませんか？ 江戸から明治にかけての頃のを主に。

土壁 変わってるなあ、あんた？

榊原 今、一分銀が欲しいんですよ。

土壁 ごめん、分かんねん。

榊原 可愛いんですよ、四角くてちっちゃくて……フフフ。そんなに高くないんですけど、「高校生にやったんやからお金の苦労を知りなさい」って親が言うから、厳しいんですよ、うち。

土壁 そうなん？

榊原 フフフ……（立って）あ、もう帰っていいですか？

土壁 あ、ごめんもう少し残ってて。

全然、今日の仕事について話してないやん。

榊原 （仕方なく座って）早くして下さい。

土壁 ……うん。よくやったと思うねん。ただな、お客さんに対して、もっと丁寧に接して欲しいんよ。

榊原 え？ しました。

土壁 うん。……もつとやねん。

榊原 はあ。

土壁 例えば、今日、榊原さん、お客さんの前で何か、景色に見とれてぴやーぴやー言ったりしたやろ？ 私もつい見てしまったけど、あんなんもあかんねん。

榊原 でも、すっごい、きれいやったじゃないですか。

土壁 うん……。

榊原 あんな空、見たん、はじめてやったし。お客さんもみんな見とれて……もう、すごかったですよねえ？ 去年家族でアメリカのグランドキャニオン行ったんですよ、そんな時もめっちゃ感動したんですけど、それと一緒にくらいびっくりして……うち、感動しました。行ったことありますか？グランドキャニオン。

土壁 ないけど。

榊原 一回行って下さいよ、あそこも結構すごいから。

土壁 ごめん、そんな話じゃなくて……でも、あかんねん。店員がそんなんでは。

榊原 なんですですか？

土壁　じゃ、あんたが、客やったらどう思う？　そんな店員。

榊原　別になんも思いません。

土壁　でも、あかんねん。うちらはサービスせなあかん立場やねん。

榊原　……サービスしたつもりですけど……フレッシュいっぱいあげたりしましたよ。

土壁　それはまた、ちがうねん。そういうサービスじゃないねん。

榊原　(笑って) すいません。うちは外来語に弱いから。

土壁　そんな大げさなことちがうって。

榊原　でも、最近まで、スニーカーのことズツクって言ってたんですよ。友達に笑われて……フフフ。

土壁　……。

榊原　あ、もう、帰っていいですか？

土壁　(少し怒って) ちよう、まじめに聞いてや。

榊原　……聞いているじゃないですか？

土壁　……とにかく、あかんもんはあかんねん。もつとサービスすんねん。いい？

榊原　……。

土壁　分かった？

榊原　……。

土壁　働くってそういうことやねん。遊びじゃないんよ。

榊原はうつむいたまま何も喋らない。

土壁　……。

榊原　……(ぼそぼそと) そんなんやったら、もうやめます、バイト。

土壁　は？

榊原　そんな……うち、一生懸命やったのに……。怒られるなら、やめます。

土壁　あんたなあ……。

榊原　(反対に怒りだす) どうしてそんなこと言う権利あるんですか？　土壁さんに。

土壁　……先輩やろ？　ここでは。

榊原　でも、うちは土壁さんに雇ってもらってるんじゃないでしょ？

土壁 ……それはそうやけど。

榊原 ……うちは店長さんに雇ってもらってるんです。お父さんの知りあいやから、お父さん頼んでくれて。

土壁 うん。

榊原 なのに……土壁さん怒って。

土壁 怒ってないって。

榊原はすごく落ち込んでいる。

榊原 ……怒りました。もう、こんな怒られたこと今までの人生でなかったし……

土壁 (弱気になる) 全然怒ってないやろ? うち。

榊原 ……もう、めっちゃショックです。

土壁 そうなんか……ごめん……。

榊原 小学校の時一回だけ先生に怒られて……それもショックやったけど……いい先生と思ってたのに……。

土壁 うん。

榊原 そんな時もうち、二カ月学校休んで……そしたら先生が謝りに来てくれたから、まあ、いい先生やったんですけど。

土壁 ……ごめん、じゃあやまるわ。

榊原 はい。

土壁 ただな、うちな、家が色々あってこう見えても案外苦労してるから。(明るく) 出来るんやったらうちもバイトとかしたないし。だけどしやあないねん、働かなあかんし……働く以上はちゃんとやらなあかんしな。で、榊原さんにも言いたくないけど、仕方なくっていうか……

榊原 うちにはそんな関係ないし。

土壁 ……。

榊原 フフフ。

土壁 何、笑ってるんよ?

榊原 でも、面白いですよねえ? この店……高校生ばっかやし……一人ですっと座ってる人もおるし、何か泣いてる子もおるし……後、何か三人組の子らがその泣いてる人に「問題を私らが解決します、サ

「スペインス同好会です」とか言って、泣いてる人の友達に怒られたりしてたし。

土壁 ……。

榊原 はあ、でも、いい経験になりました。

土壁 ちよう、ホンマにやめんの？

榊原 はい。だって怒られたりするの、嫌いなんですよ、うち。

土壁 いや、怒ってないで。気悪さしたんやったら謝るって。

榊原 大丈夫です。うちももう高校生やし、結構大人やし。……（立って）じゃ、もう帰ります。見たいテレビもあるし。じゃ、しちゅれいします。

帰って行ってしまおう榊原。

土壁 （怒鳴る）こら、待てっ。

しかし榊原はもういない。取り残される土壁。

土壁 ……（ため息まじりに）最近の若いもんは……。

暗転。

第五場

テーブルが四つあり、それぞれに人が座っている。かしましく会話が飛び交っている。

中央には電話がある。そこで受話器を握りしめて立っているのは城之内。Aのテーブルを拭いている店員、榊原。そこに通路から二人の高校生、河島と横田が入ってくる。

榊原 （河島達に）いらっしやいませ。ごゆっくりどうぞ。

と、榊原は通路に去る。

入れ替わるように別の店員、土壁が金属製のジヨウロを持

って登場し、電話の横にある観葉植物に水をやる。

城之内がガシャンと電話を切る。みんなは一斉に城之内を見る。その瞬間、明かりはAのグループだけに絞られる。

城之内は電話ボックスから出てきて、

城之内 コーヒーのおかわりもらえますか？

土壁 はい。少々お待ち下さい。

土壁は去る。Dの席に戻る城之内。他のテーブルの人たちは顔を元に戻すと 静止状態になる。

東 ……少々お待ちくださいやって。

波江 普通やん。

東 うん。でも少々ってヘンやんな？

郷田 何が？

東 音が…：シヨウシヨウ、シヨウシヨウ、シヨウシヨウ…

波江 あんたが変なんや。

郷田 ふつう店員はそう言うやろ、ほかに何て言うねん？店員が「しばらく、しばらく」とか、言ったらおかしいやろ？

波江 江戸時代の茶店か、ここは。しかも街道沿いの。五瓶餅が名物の。

郷田 喩え長いねん、あんた。

東 あ、それ、面白い。

郷田 何が？

東 うん、店員が「しばらく、しばらく」とか言って立ち去ったら。

波江 面白いか、そんなん？

東 面白いよ。

波江 だからそれは江戸時代の茶店やろ。しかも街道沿いの。今川焼が名物の。

郷田 名物変わってるやん。

東 そんなじゃないねん。ただ、普段疑問もなく使ってる言葉ってあるやろ？ だから普段と違うこと言うのが面白いねん、うちは。

郷田 ああ。……でも、時々あるよな、知らん間に変なこと言ってることって。

波江 まあ、言い間違いとかはな。

郷田 私先週あった。

波江 え。

郷田 学校行くとき、朝、親に「いただきます」って言っちゃった。

波江 アホやな。

郷田 しかも不機嫌な顔で。

波江 うん。

郷田 恥ずかしかったわ。

郷田 だけどあるやろ、そんな言い間違いって。

波江 ない。

東 あ、私もある。

郷田 あるやんな。

東 うん。私は部活終わって「おつかれさまでした」って先輩に言うとしたら、思わず「ごくろうさん」って言っちゃった。

波江 顧問の教師か、あんた？

郷田 恥ずかしいよなあ、そういう時。

東 うん。変なもんやんな、言葉って。

郷田 一瞬、変な空気流れるやろ？

東 うん、何でこんなふうに決まってるんやろ？

郷田 ああ、ホント、自分でも気が付かん間に言ってしまうもんなあ。

東 言葉って、誰が考えたんやろ？

郷田・東 なあ。

波江 ……ひとこと言わせてもらうけど、アンタら、会話してるつもりかも知れへんけど、おたがい別の話してるで。

郷田 ああ。

東 ……でも、ホント、言葉って変やんな。って言ったら意味分かるやろ？ って言っても分かるやろ？ あららら、またまた分かるやろ？ 不思議や。

波江 あんたが不思議や。

東 でも不思議って、音にしたらさ、「フシギ」やろ？

波江 なあ、大丈夫か？

東 たとえば、外国のひとはフシギって聞いても分からんし。フシギ……フシギ……おかしな音。誰が決めたんやろ？

郷田 昔のひとちゃうん？

東 だけど、最初は言葉がないし。どうするの？

波江 知らんやん、そんなん。

東 言葉ないのに、どうやって言葉を作ったん？

波江 知らんってそんなこと。新村さんに聞きたいや。

郷田 誰？ 新村さんって？

波江 「広辞苑」作った人やん。何でそんなこと私知ってんねん。

郷田 さあなあ。

東 ……どうしたんやろ、昔のひと。学校でそういうこと、教えてくれたらいいのに。

郷田 やっぱりアレちゃうん？ ……たとえばここにコップあるや

ろ。ある人がこれを指しながら「おーおー」とかうめいてて、そしたらいつの間にか、みんなこれを「おーおー」とか言うようになって、それでこれは「オーオー」になったんや。

波江 これはコップやん。

郷田 だから……「コップー」ってうめいたんや、最初。

波江 そうか？

東 なんかなんかなんか、面白いなあ。言葉の始まり、面白いなあ。そうかも知れへん。うめいてて出来たんかも知れへん。うあおうあお面白い。

波江 あんたの様子が面白いで。

郷田 でも結構このうちの説が正しいかも知れへん。画期的や。

波江 でも、言葉の並び方とかあるやん。うめいてるだけでは、しゃべれへんやん。

東 なんかなんかなんか、フシギや。

波江 だからあんたが不思議です。

Dのテーブルで一人の女性(観音寺) が立ち上がる。

観音寺 (立って) トイレ行ってくるわ。

浅倉 話の途中やで。

観音寺 トイレくらい行かしてえや。
坂元 どうぞ、お好きに行動して下さいませ。
観音寺 そうさせてもらいますわ。

観音寺は去る。

東 ……トイレ行ってくつて聞いただけで意味分かるなあ。

波江 分からんかったらトイレも行けへんやん。

東 でもなんで「トイレ」って決まったんやろ？

波江 英語やん、トイレは、もともと。トイレットやろ？

東 違う。もつともつと昔のはなし。言葉が出来た最初の時。やっぱ「トイレット」ってうめいたんかなあ。

波江 どうやって？

東 「トイレットオー」って。

波江 もうめちやめちや漏れそうな時や、それ。そんな時こんな複雑にうめかんって。やっぱ「うおっ」とかそんなんやん。

東 そうやんなあ。

土壁がコーヒーを城之内の所に注ぎに 来る。

土壁 お待たせしました、失礼します。

城之内 ミルク四つ下さい。

土壁 あ、少々お待ち下さい。

と、土壁は去る。

郷田 (目の前にあるトレイを見せて) これトレイやろ？

東 うん。

郷田 ……トイレがトレイで、トレイがトイレでもいいんやもんな、みんながそう思ったら。音としては似てるわけやから。

東 うん。

波江 「ちよっとトレイ行ってくるわ。あ、悪いけど、このトイレ片づけといてね」

東・郷田 わあ。

郷田 ややなあ、なんか。

東 「グラスとかトイレに乘せて運んで下さい」

郷田・波江 わあおー

波江 めちゃくちゃ、いややな。

東 面白い。もつとなんかないかな？

郷田 んん……たとえば「殺す」とか聞くとドキッとするやん。でも

「笑う」っていう言葉と逆やつたとしたらいややな。

波江 「昨日、めっちゃ殺したわ」とかな。

三人 (笑う)

城之内、電話ボックスに。

波江 そうなったら刑事ドラマとかも困るなあ。

郷田 「声をひそめて」警部、事件です。また男が笑われました」

波江 「(驚いて) 何？ で、笑われた時間は？」

郷田 そうそう。

東 サスペンスになれへんやん。

観音寺がトイレから帰ってくる。

浅倉 お帰りなさいませ。

観音寺 何それ？

浅倉 いや、お好きにトイレをお済ましになられましたか？

観音寺 まあなあ。

観音寺は座る。

東 言葉か……うん……

波江 なんか悩んでるで。

東 なやんでる……な、や、ん、で、る……んん……

そこに店員の榊原と土壁が二人で入ってくる。そして榊原

は店内に向かって、

榊原 失礼します。あの、お客さんの中で店の東側に車を停めてる人はいませんか？ いたら動かして下さい。いますか？ いますか？

土壁 (榊原に) ちよっと。

榊原 はい？

土壁 私言うから……すみません。お客様の中に黒のクラウンでお越しの方がいらつしやいましたら、他の車両のご迷惑となっておりますので、宜しくお願いいたします。失礼いたしました。

と、土壁は去る。取り残される榊原。電話ボックスにいた

城之内は電話を切って出てくる。そして榊原に、

城之内 ミルク四つ早く下さい。

榊原 あ、はい？

城之内 さっき言ったんですけど。

榊原 お待ち下さい。

と、城之内は席に戻る。榊原は全体に向かって、

榊原 あの、しちゅれいします。

と、頭を下げると去る。

波江 しちゅれいしますって、言ったやん。

郷田 でも、それでもいいんやもんな。みんながそう決めてたら。

東 ルールなんや、言葉なんて。

郷田 そうや。

波江 単純に全部言葉の意味を逆にしたらそれだけでおかしいやろな。

郷田 どういうこと？

波江 「笑う」と「泣く」とか、「きれい」と「きたない」とか、全部逆にするねん。

郷田 そんな面白いか？

東が立つ。

東 (立ち上がりながら) 座る。

郷田 わけ分からんことやめてよ。

東 (座りながら) 立つ。

郷田・波江 わぁ

郷田 ……気持ち悪いなあ。

波江 な。

東 面白い、これは面白い。

郷田 でもなんで気持ち悪いんやろ？

波江 うん……

東 あれ違うん？ 動きとか見てるだけで「立つ」って頭のなかでつぶやくやん。で、それで座るとか言われると、ずれてて気持ち悪いから。

郷田 ふんふん。

波江 ……うちも乗ってきたわ。もっとやろか？

郷田 何を？

波江 逆にすんねん、言葉を。

郷田 やめようや、そんなん。

東 やりたいやりたい。あ……やめたいやめたい。

波江 そうそう、逆や。だから全部逆やと意味分からんし、動詞っていうか、そういうのだけ逆にしようや。「やりたい」を「やめたい」にしたたり。

東 ようしやめよう。

波江 そうそう。

郷田 訳分からんわ。やめようや。

一瞬、間。

波江・東 (うなづきながら) 嫌だ嫌だ。

郷田 あ、私はマジに言ってるねんで。やめようや。

一瞬、間。

波江・東 (嬉しそうにうなづきながら) 嫌だ嫌だ。

郷田 あんたらなあ……やめてや。

波江・東 (うなづきながら) 嫌だ嫌だ。

郷田 分かった、やろうや。

東 もっと細かく決めようや、色々。

郷田 おい、今のも逆にとれよ。……はい。もう、やめやめ。取りあえず普通に戻して、な。

東 ……(嬉しそうに) なんか、ほら、オリジナルの言葉とか作れたらしいなあ。

波江 けど本格的にやんのは難しいで、そんなん。文法とかも考えんといかんやろ。

東 いやいや、もちろん、ベースは日本語でやで。

波江 ああ。

郷田 あ、思い出した。あれやん。明後日現国のテストあんねやろ？

波江・東 ああ。

郷田 全然やってないわ。

波江 うちも。動詞の活用とかやろ？

東 うん。

郷田 ……そう考えたら、なんか、馬鹿らしいな。

波江 ん？

郷田 だって言葉って自然に出来たか、誰かが考えたかそれは分からんけど結局、そんなもんやん。いい加減なもんやん。みんなが使って段々にルールが出来ただけやろ。

東 そうやろうなあ。

郷田 だってそれを勉強したりしてるわけやろ？ で、それをテストされたりして。

東 うん。

隣のテーブルでは、

浅倉 (田中先生の真似) いいか、結果に誠実に。
観音寺 そうそう。

坂元 もっと太いで声。

浅倉 いいか、結果に誠実に。

坂元 それは似てるわ。

波江 うちが思うんはさ、よく親とか先生とかに「ちゃんと言いなさい」とか「説明しなさい」とか言われるけど、言葉に出来んことってあるやん。例えば悲しいとかでもさ、悲しくはないけど悲しいに近いとか、嬉しいと悲しいの合わさったような気持ちとかさ、そんなん説明できひんやん。

東 分かる分かる、言葉がないねん、ぴったりの。

郷田 ……あ、知ってる？ アメリカにはさ、「肩こり」っていう言葉がないねんて。

波江 まじで？

郷田 うん、何かで読んだ。そしたら肩こり自体がないってことやん。

波江 は？

郷田 肩が重いなあと思っても、日本人は「肩こり」って思うけど、アメリカ人はただ身体が疲れてると思うだけだったりするって、書いてあった。だって「肩凝り」という言葉がないってことは「肩凝り」っていう、それ自体がないってことやん。

東 面白いなあ、それ。

郷田 だって何でも結局は言葉で考えてるわけやし、だからそれを表す言葉がなかったら、それが無いことと一緒にやねんきつと。

東 うんうん。

波江は外(正面)を見て、

波江 へえ。……あ、雨やんだな。

郷田 ん？ ホントホント。

波江 さつきはあんなに降ったのに。

郷田 うん。雨っていう言葉がなかったらどう思うかな？

波江 え。

東 うちらにとつたら今は雨ってうつつとうしいけどさ、めっちゃ喉乾

いてる人にとつたら嬉しいやん？ なら、雨のこと「ラッキー」って名付けるかもしれへん。

波江 ああ、今日もラッキーや。傘持っていこ。

東 ……そう考えたら言葉に縛られてるねんな、私達。

波江 カッコいいなあ、なんか、あんだ。

東 だって「肩こり」って言葉がなかったら肩こりはないわけやん。

「雨」って言葉なかったら雨もないわけやん。

波江 そうやな。

郷田 ほら、うちの委員長おるやん？ あの子みんなに「委員長」って呼ばれてるやん。それと同じや、委員長って言葉なかったら

「佐々木」って呼ばれんのに。

波江 佐々木って中年のおっさんと付合ってるらしいで。

郷田 知ってる。もうすぐあだ名が「委員長」から「不倫」になるわ、きつと。

波江 ……でも「不倫」とかもそんな言葉がなかったらただの恋愛やしなあ。

東 「妊娠」っていう言葉がなかったら、おなか出てきたって思うだけかもしれないし。

波江 まあ、そんなことはないやろ。

郷田 ……「森」とかなかったら、ただのたくさん木があるところって思うしな。

東 そうそう。「りんご」とかなかったらただの果物やって思うだけやしな。

波江 「果物」もなかったらただの赤い野菜って思うかもしれんし。

郷田 トマトと区別つかんなあ。

三人、笑う。城之内は立って出てい く。

波江 甘いトマトって思うかもしれん。

郷田 うん。

東 で、甘いトマトを「リンゴ」って名付けたんや、きつと。

波江 うん。

東 だから私たちがオリジナルの言葉創るねん。例えば嬉しいと悲し

いの合わさったような気持ちをあらわす言葉とかさ。

郷田 なるほどなあ、なんとなく面白そうな感じがして来たわ。

東 ……(窓の外を見て) 空ってどういう言葉なかつたらどうするやろ？

波江 さあ。

東 ……あれやな。元々は、ただ、こう、漠然とした世界があつて、うちらがいるだけなんや。なんにも言葉をなくしたら、なんにもないところにうちらがいるだけなんや。ただ、ただ、いるだけなんや。

波江 哲学者か、あんた。

郷田 うん。格好ええなあ。

三人は何気なく窓の外を見ている。

するとCのテーブルでは、

横田 じゃ行ってくるわ。

河島 うん。

気がつかないくらいさりげなく、店内の音楽が聴こえ始める。しばらく経っていた明かりは広がり店内が一斉に動き出す。

横田は席を立ち、去ろうとする。

すると浅倉も同じように去ろうとして、

横田 どうぞ。

浅倉 すいません。

そして二人は去る。

河島 ……遊ばれたのか、私は……

河島はコーヒーを飲む。それにかぶるように、

観音寺 よっしやよっしや。

坂元 ……なあ、田中のこともう言わんで。

観音寺 は？

坂元 ……ホンマイややねん、うち。
観音寺 何で？

坂元 車の中に引っ張りこまれてん、前。

観音寺 (驚く) まじで？

東 不思議やな、言葉って。

波江 うん。

と、河島はテーブルにうつぶせになっ
て。泣いている
のかも知れない。

郷田 帰ろか？

波江 (東を指して) でも完全にこの子世界に入ってるし。

郷田 ああ。

と、三人は窓を見ている。

坂元 (河島を見て) なあ、あの子、なんで泣いてるんやろ？

観音寺 え。

東 不思議やなあ、言葉って。

波江 まあなあ……

と、黄金色の強烈な光が正面から店内
を照らし始める。
Aの三人はほぼ同時に感嘆の声。

三人 うわあ。

その声に反応して坂元達も窓を見る。

坂元 あ……すごいなあ。

観音寺 うん。

波江 ……めっちゃきれいやな。

郷田 うん。

東 ……きれいっていうか、どう言ったらいいかな、これ。

郷田 は？

東 オリジナル。オリジナルな言葉で。

波江 ああ。

東 「うおー」とか。

波江 それただうめいてるだけやん。

東 そっか。

そこに横田と浅倉がそれぞれのテーブルに帰ってくる。

浅倉 何、うっとりしてんねん、お若いのたち。

坂元 あれ。

浅倉 え……あ……。

浅倉も景色を見る。横田は河島に近づいて、

横田 (河島を見て) 祐子。

河島は顔をあげない。

横田 ちよつと。

河島は横田を見る。と、そこにフレッシュをたくさん抱えた城之内、続いて土壁が入ってくる。

土壁 お客さん、そんなにたくさん困ります。

城之内 でもいいって言われました。

土壁 え。

城之内 その人に。

やや遅れて入ってきた榊原を城之内は指す。そして城之内も景色に気づく。手からフレッシュがこぼれる。
土壁は榊原を少しだけならむ。
そして土壁も景色に気づく。

横田　きれいやろ？

島はゆっくり立ち上がって、

河島　うん……。

榊原は窓を見ると、

榊原　うわ……。

うれしそうに窓に近づいて行って……

榊原　……ぴやあ……

音楽が大きく流れ出す。

雨上がりの鮮烈な光は店内にいる女子高校生達を照らし
ている。全員、何かを失ったようにただ窓を見たまま動か
ない。

世界に彼女達がいる。
終わり。

上演記録

伊丹アイホールグロウアップ事業
ハイスクール・プロデュース

日時◎1996年5月8日(土)・9日(日)

会場◎AI・HALL

演出◎土田英生

演出助手◎原真・奥野将彰
舞台監督・美術◎岡和代

照明・音響◎SFC

企画・制作◎伊丹アイホール

出演◎

・グループ①

浅倉←友田早紀

坂元←津久間泉

観音寺←皆木愛子

・グループ②

横田←志茂奈津子

河島←川畑牧子

・グループ③

城之内←中川祐美

・グループ④

郷田←武田朋子

波江←中村和代

東←越希美江

・店員

土壁←船ヶ山智子

榊原←山口晶子

©2009 by Hideo Tsuchida

禁無断複写、転載。

有限会社キューカンバー

〒605-0942 京都市東山区蒔田町549-3 藤ビル2F

Tel ◇ 075-525-2195 Fax ◇ 075-525-2197

E-mail ◇ info@cucumber-m.com URL ◇